

誰にでもやさしく、安心できる商店街づくりによる活性化。
ユニバーサルデザインスペース「銀天もやい館」の整備。

本 渡 中 央 商 店 街 振 興 組 合

機関名	本渡中央商店街振興組合		
所在地	熊本県本渡市中央新町3-12		
電話番号	0969-23-2213		
地域概要	(1)管内人口 41千人	(2)管内商店街数 17商店街	
事業の対象となる 商店街の概要	(1)商店街数 1商店街	(2)会員数 60商店	
	(3)空店舗率 20.0%	(4)大型店空き店舗数 1店舗	
商店街の類型	1. 超広域型商店街 2. 広域型商店街 3. 地域型商店街 4. 近隣型商店街		

【事業名と実施年度】

平成16年度 コミュニティ施設活用事業（商店街利用者支援サービス施設）
・「もやい館」の整備、運営事業
総事業費 3,902千円

【事業実施内容】

1. 背景

本渡市の区域は、本渡瀬戸海峡をはさんで天草上島と下島に広がり、四季の変化に富み、柑橘類の栽培などに適したところである。明治6年、天草支庁が富岡町から町山口村（現在の本渡市）に移され、このころから本市は天草の政治、経済、教育、交通の中心として発展してきた。昭和41年の天草五橋の開通、平成9年の熊本港～本渡港を結ぶ超高速船“マリンビュー”の就航、同12年春の福岡間・熊本間を結ぶ“天草空港”の開港によって、陸・海・空のすべての交通アクセスが整備され、産業の発展とともに天草地域の中核都市となっている。



本渡市の地図（本渡市役所HPより）

本渡市の商店は、市街地中心部の商業地と亀場町、瀬戸町、志柿町、佐伊津町の幹線道路沿道に集積し、17の商友会を構成して商業活動を展開している。この内、中心商業地では「本渡中央商店街振興組合（銀天街）」などの各通りごとに集約的な商店街があり、天草地域の広域的な商業地、本渡市の都市生活の中心となる商業地が形成され、この中心市街地商業の店舗数は、平成14年時点で全市の約6割を占めている。また、平成期に入って、大規模小売店舗の出店が相次ぎ、市内の大規模小売店舗

は、平成15年時点で13店舗となっている。この内、中心商業地に既存商店街と隣接している大規模店舗は2店舗であり、他の多くは新市街地もしくは市街地外の幹線道路沿道に立地している。このような大型店の郊外化のみならず、個人消費の低迷、通行量の激減、空き店舗の増加など中心商業地の環境は年々厳しいものとなっている。

また、天草は急激に高齢化が進んでおり、高齢化率も県平均に比べ高く、また県内障がい者の約1割が天草に居住している。このような状況の中で、健常者だけでなく高齢者、障がい者が日常利用する場所として、すべての人に対応した商店街づくりを進めていくことが重要であると考えた。そしてユニバーサルデザイン（UD）の理念に基づいたさまざまな事業を発信、展開していくことで「誰にでも優しい、安心できる商店街づくり」を目指した。

そこで、平成15年度に商店街の空き店舗を利用して、無料休憩スペースを提供し、手荷物預かり等の機能をもつコミュニティ施設「銀天もやい館」を設置した。平成16年度も引き続き事業を継続して行っている。

2. 事業内容

コミュニティ施設を中央商店街（銀天街）に設置し、さまざまな事業を実施した。「もやい」とは熊本弁で「共同です」「共同作業」などの意味である。銀天もやい館はユニバーサルデザインスペースとして整備し、誰にでも優しく地域に必要な場所とすることで商店街活性化の促進を狙っている。

- (1) 施設名称：銀天もやい館
- (2) 所在地：本渡中央商店街
- (3) 運営体制：銀天もやい館運営委員会
(メンバーは組合員で構成)

(4) 実施事業

① よろづ相談所の開設

本渡市保護センターの協力により健康相談会を5回実施した。

② ふれあい販売会の実施

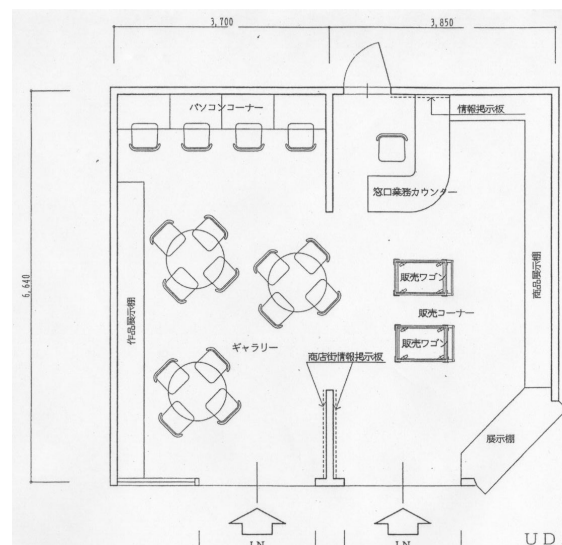
- 1) 天草養護学校の生徒による「商人体験学習」を2回実施した。
- 2) 天草苓明高校・校内生産品、主に花、野菜、みかん類、ハム、ベーコン、ジャム等を商業科の生徒が6回実演販売した。

③ 手作りイベントの開催

11月20日～23日の4日間、もやい館で「お抹茶とお菓子、おしるこでおもてなし」のイベントを実施した。

④ 情報発信と集い憩いの空間づくり

地域観光、施設情報誌を常設し、ケーブルTV市民チャンネル放送を常時提供した。



銀天もやい館見取り図

⑤住民セミナー

1) 実用筆文字教室 (4月22日：午前10時～12時)

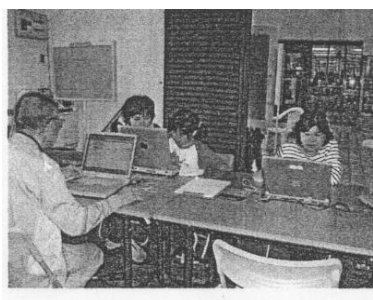
実用的な書道教室。御歳暮、御中元、御祝、御仏前、御霊前、寸志などや参加者自身の住所、氏名の書き方を練習した。

2) パソコン教室 (5月13日：午前10時30分～12時、午後1時30分～3時)

ワード・エクセルの基本、文字入力(ローマ字)の練習などを行った。



実用筆文字教室の様子



パソコン教室の様子

3) 携帯電話教室 (5月19日)

初めて携帯メールを体験する方などを対象として、携帯メールの使い方やカメラ機能の使い方についての指導を行った。

4) ビーズ細工体験会 (7月10日)

ビーズ細工初心者のための体験会を開催した。

5) 焼物絵付け教室 (7月24日)

素焼きのカップや皿に絵付けを行った。

6) 左官技能士と子供たちのふれあい (8月22日)

石膏の型に色付けを行った。

7) 押し花教室 (9月10日～17日)

押し花初心者のための体験会を開催した。

8) ウォーキング教室 (9月27日)

正しい歩き方、良い靴の選び方についての指導を行った。

9) シルバーオーバーレイ教室 (12月7日、21日)

シルバーオーバーレイとは、白磁に銀をかぶせる技法のことである。アクセサリの制作などに活用されている。本教室では、初心者のための体験会を行った。

10) ブリザーブドフラワーレッスン (12月17日)

ブリザーブドとは「保存」という意味である。ブリザーブドフラワーとは、生花へ人体に無害な保存液を施して作られた花のことである。水をあげる必要がなく、みずみずしさを保った色鮮やかな状態を長期間保存できる。主なものにバラ、カーネーションなどがある。

⑥ギャラリー

地域の工芸家、学生等による書道展、グラスアート作品展、押し花展、切り絵展、パネル展、写真・ビデオ展、陶器展、美術部作品展などの作品展示会を行った。

⑦ユニバーサルデザイン商品を紹介するコーナーを設置

各店舗が販売しているUD商品を展示した。

⑧手荷物預かりの実施

各店で手荷物預かり、駐車場までの運搬を行うとともに、預かり可能な店舗の案内を実施した。



書道展（静泉書道教室作品展）

<施設利用者数>

	平成15年度利用者 (15年11月～16年3月)	平成16年度利用者 (16年4月～17年3月)
①よろづ相談所	13名	38名
②ふれあい販売会	560名	930名
③手作りイベント	665名	780名
④住民セミナー	180名	333名
⑤ギャラリー	4,360名	2,920名
合計	5,778名	5,001名

【 効 果 】

1. 近隣個店への波及

ギャラリーなどのイベントにより人が施設に集まる機会には、近隣の飲食店には顧客が多少であるが増えた。銀天もやい館自体で商店街の賑わいが創出できたということはないが、この事業を行っていなければ消費者の商店街離れがもっと進んでいたと思われる。当事業が大型店への顧客流出の歯止めにはなった。

【 課 題 ・ 反 省 点 】

1. 人的体制

ほとんどの店が最少人数で店を運営していて時間的な余裕がない。

2. 事業費の確保

年々財政的に苦しくなっており通常予算以外の事業費捻出が難しくなっている。

【 事 業 の 実 施 ポ イ ン ト 】

組合員のチームワークが重要である。詳細な事業計画を立てても、日程調整などの理由でその計画をその通りに実施することが難しい。お互いに協力し合って事業を実施していかな

本渡中央商店街振興組合

いと特定の人に負担が多くなり、翻弄されることになる。イベントなどでは、若い組合員が中心になって事業を積極的に行ってくれたが、本来は1年間を通じて事業に従事できる専属の担当者が必要である。

【 関 連 U R L 】

熊本商工会議所HP <http://www.kmt-cci.or.jp/>

くまもと商店街ネット（熊本県商店街振興組合連合会HP）
<http://www.kumanet.jp/index.html>